

調布の

# 清掃作業員さんに聞きました!

part6

## 調布市の粗大ごみはどうなっているの?

調布市内で日々排出される大量の粗大ごみ。今回は、クリーンセンターで粗大ごみを処理・解体している、株式会社調布清掃のクリーンセンター副統括責任者・宇治主任にお話を聞きました。

今回は株式会社調布清掃の宇治さんにお話を伺いました。宇治さんは日々、クリーンセンターで粗大ごみの解体や古紙・ビンの積替え・搬送など、幅広い業務に携わっています。スキーが趣味で、休日のご家族でよくゲレンデへ行っているそうです。



### Q1 粗大ごみはどうやって運ばれて来ますか?

調布市では、収集員がご自宅までお伺いする「収集」と、ご自身でクリーンセンターにお越しいただく「持込み」の2つの方法があります。ここクリーンセンターには、毎日市内から出たすべての粗大ごみが集積後、その日のうちに解体・処理されています。



### Q2 どのくらいの粗大ごみが出されていますか?

令和3年度は約25万4千点、2,100トン程度の粗大ごみを処理しました。コロナ禍も相まって、粗大ごみは年々増加しています。



### Q3 不要になった粗大ごみはどのように処理されていますか?

粗大ごみには、貴重な資源である銅・鉄・アルミなどの有用金属（レアメタル）が多く含まれています。クリーンセンターの特徴として、ただ解体するのではなく、手作業による解体を徹底することで、これらのレアメタルをできる限り取り出し、それらは資源化業者へ引き渡された後、再び資源としてリサイクルされています。



手作業による解体の写真 / 株式会社調布清掃 緒方さん

### Q4 全部解体してるんですか?

運ばれてきた粗大ごみの中には状態・品質が良く、まだまだ十分に利用できる家具等が数多くみられます。そのようなものについては、解体するのではなく、利再来留（りさいくる）館にてリユース（再利用）を目的とした展示・販売を行っています。

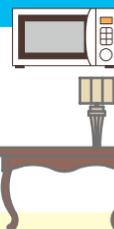


※利再来留館は令和5年9月（予定）まで休館中です。

粗大ごみ再生品（リユース品）の例

### Q5 作業されているとどんなことを感じますか?

一番感じるの「もったいない」の一言です。粗大ごみの中には、まだまだ利用できる家具や家電製品などが数多く含まれていますが、全てが利再来留（りさいくる）館で展示・販売することはできず、ほとんどが解体・処分されています。



## 家具などを粗大ごみで出す前に、ジモティーを活用してリユースしてみませんか?



詳しくは下記をご覧ください  
[https://jmtty.jp/about/what\\_is\\_jmtty](https://jmtty.jp/about/what_is_jmtty)

地元の  
掲示板だから  
すぐに見つかる



登録料・  
手数料は  
すべて無料!



チャットで  
簡単取引!



はじめまして、〇〇についてお知り  
いただきたくご連絡しました。  
こんにちは。お問い合わせ  
ありがとうございます。

